

氷見市長

林 正之 様

要 望 書

氷見市稲積地区

ほ場整備事業の早期事業化について

H29-040-001

日頃より稲積地区の農業振興に多大なるご指導とご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

当地区は昭和 50 年から昭和 54 年までの間、主に 30 アール区画では場整備事業を実施いたしました。

営農面では、近年の農業を取巻く諸問題に対応し、効率的かつ安定的な農業経営を図るため「農事組合法人いなづみ」を設立いたしました。「農事組合法人いなづみ」は現在約 45 ヘクタール、その他「農事組合法人天神」等、毎年農地集積が進み、担い手への集積率は地区内水田面積の約 92% となっておりしております。

しかしながら、ほ場整備完工後まもなく 40 年となり、用排水路や暗渠排水等、土地改良施設の老朽化が進み、営農に支障が出てきております。

また、現況の圃場区画では農業機械の大型化も図れず、非常に効率が悪い状況であります。

持続可能な営農を実施するためには、作業のしやすい圃場に再整備し、後継者が育ちやすい環境整備を図らなければならないと考えております。

つきましては圃場整備事業の早期の事業採択に格別のご高配を賜りますようお願いいたします。

- ほ場整備事業の早期事業化
- 区画の拡大、土地改良施設の更新
- 用排水路のバイプライン化
- 用水路の ICT 化

平成 29 年 7 月 14 日

氷見市土改稲積工区長

堤下 強



農事組合法人いなづみ理事長

寺山正栄



氷見市農業協同組合理事

放崎裕二



稲積地区自治振興委員長

干越正則



◎ 通常時の排水路。



大雨時の状態（排水路の限界不足で田に水が入る）。



◎ 排水マスの落下。



◎ 高低差不足の排水路。張りブロックの落下



◎ 巾200mm、高さ180mmの狭い用水路



◎ 排水路の張りブロックの陥没

